

指定管理施設モニタリング結果報告書

1 公の施設の概要について

施設の概要	名称	平戸市切支丹資料館
	所在地	平戸市大石脇町1502-1
	所管課	観光課
指定管理者	名称	一般財団法人 平戸市振興公社
	所在地	平戸市田平町里免27番地1
	業務内容	平戸市が所有する公の施設の管理運営等
ホームページURL		https://www.hira-shin.jp/
指定期間		令和2年4月1日から令和6年3月31日まで

2 施設の利用状況等について

項目	令和2年度	令和3年度	令和4年度	年度	年度
開館等日数(日)	273	311	308		
利用者数(人)	1731	2,157	3,186		
前年度比(人)	△ 1,958	426	1,029		
前年度比(%)	46.9	124.6	147.7		
利用料金(千円)	334	400	537		
前年度比(千円)	△ 342	66	137		
前年度比(%)	49.4	119.8	134		

※その他、必要に応じて、施設の性格ごとに項目を追加する。

3 施設の収支状況について

単位:千円

項目		令和2年度	令和3年度	令和4年度	年度	年度
収入	指定管理料	3,166	3,274	2,997		
	料金収入	334	400	537		
	自主事業収入	0	0	60		
	その他の収入	123	80	34		
	計	3,623	3,754	3,628		
支出	人件費	2,249	2,375	2,402		
	維持管理経費	529	474	526		
	自主事業経費	0	0	15		
	その他の経費	748	880	750		
	計	3,526	3,729	3,693		
収支(収入-支出)		97	25	△ 65		

4 施設の利用促進や市民サービスの向上の取組

利用者アンケート(実施時期や具体的な方法など)

館内にアンケートBOXを設置したり自由帳を備え置くなどしたほか、入場券発券時や売店での販売時などの機会を利用して意見の集約に努めた。

利用者から寄せられた意見・苦情及び対応状況

令和4年度のアンケート回収枚数4枚。特段の意見なし。
設問に対する回答集計は別紙「来館アンケート集計」参照。

利用促進のための独自事業、市民サービスの向上の取組など(取組の内容、効果など)

開館40周年記念事業のイベント当日は、来館者全員を無料とし、館内に応援スタッフを配置して期間限定で展示した写真や映像の解説を行い、地域の歴史や文化の普及に努めた。また、3月いっぱい開催した、根獅子地域の昔の映像・写真展には、地域の方々を無料招待し、改めて館の魅力や展示内容について地域への発信を図った。

5 経費削減のための取組

具体的な取り組み内容

昨年から継続して、入館者不在時の電気消灯をはじめ、こまめな節電に努めた。また、トイレ使用を極力施設利用者限定し、トイレットペーパーなどの消耗品の縮減にも努めた。

6 指定管理者による総合評価

利用状況、収支状況などを踏まえて、業務改善につなげていくための総括・自己評価

開館40周年という節目を、地域との繋がりの再出発点ととらえ、まちづくり運営協議会との連携や地域の方々の無料招待を行えたことは一定の評価が出来ると考えている。一方、収支については赤字に転落しており、営業力強化をはじめとする収入源確保や経費節減が喫緊の課題であると考えている。

7 所管課による総合評価(太枠にS～Bの3段階で評価を記入)

市民サービスの向上

開館40周年記念イベントを実施し、地元まち協と連携し、各種イベントを実施した。

経費削減の取組

節電による電気料削減及びトイレ使用による消耗品費削減に努めた。

業務改善につなげていくための指定管理者の管理に係る総括的な評価

開館40周年記念イベントの中で、島の館から職員を派遣し、展示資料や世界文化遺産の解説を行ったり、根獅子まち協と連携し、物販や振る舞いも行っている。
今後も施設管理及び誘客に努めていきたい。

総合評価

A

※評価基準

- S: モニタリングチェックシートにおいて、全ての項目が「適正」であり、協定書、事業計画書等より優れた指定管理業務を行っている。
- A: モニタリングチェックシートにおいて、全ての項目が「適正」であり、協定書、事業計画書等に沿った指定管理業務を行っている。
- B: モニタリングチェックシートにおいて、「要改善」の項目があり、協定書、事業計画書等で定める指定管理業務の一部に課題があると認められ、改善の必要がある。